

JASPEC「ほっとデスク年間定例セミナー」(福祉用具取扱者人材育成年間カリキュラム)

2018ver

開催月	期間	内容	詳細
6月 6/22(金) OR 6/23(土)	一日間 最大参加 可能人数 20人	特殊寝台・付属品・床ずれ防止用具選定基礎研修 ※体験してもらう為、少人数開催を考慮し、同じ内容で二日間	ベッド基本原理と機能 マットレス(床ずれ防止用具含む)体感並びに褥創の理解
8月 8/25(土) 8/26(日)	二日間	車いす取扱並びに選定基礎研修	保守並びに点検技術、機能分類 人体的観点、機械的観点
10月 10/27(土) 10/28(日)	二日間	杖、歩行器の基礎知識 排泄用具、入浴用具の基礎知識	歩行への基本理解、想定する利用者像と注意点 衛生的な生活を送る為に知っておくべき基礎知識
12月 12/15(土) 12/16(日)	二日間	住宅改修施工の構造基礎知識、住宅改修アプローチ 住環境	建築物を構造で理解し、「可能な」改修を提案 生活動線の考え方
2月 2/23(土) 2/24(日)	二日間	福祉用具概論	利用者にとって、福祉用具とはどうあるべきか 制度上の助成対象福祉用具(介護保険・障害者自立支援法等) 高齢者の日常生活の特徴(身体と疾病の特徴) 他サービスとの連携・他サービス職種の用具への責任の範囲 物に関する法律並びに規格 「ひと」「もの」「環境」の総合トータルサービスとは(人的サービスと物的サービスの捉え方)

開催地: 社団法人 日本福祉用具評価センター(JASPEC) 〒650-0047兵庫県神戸市中央区港島南町7-1-5 TEL078-306-0556 FAX078-303-0506

主旨 福祉用具を取り扱う者(主として福祉用具専門相談員)が、選定の原理を理解し、応用ができる為の基礎知識を用具面主体で付けてもらう事が基本主旨。
福祉用具利用者に対して、医学の専門家が医者である様に、福祉用具専門相談員が用具の専門家としてアドバイスを行う為に必要な、知識と技術を提供する。
流通に携わる者として、また最も利用者に近い供給者としての自覚をもって業務に取り組んでもらえる事を目的とする。

※ 受講者の主体は、福祉用具貸与事業所の福祉用具専門相談員ですが、ケアマネージャーやヘルパーや施設職員など、**福祉用具に触れる可能性のある方ならば、どなたでも受講可能**です。

開催月の約一ヶ月前には、弊センターのHPにて、申込書をアップしますので、お申し込みはその用紙を使って、FAXにてお送り下さい。

※ 過去の同じセミナーを受講された方は、復習並びに新規情報更新として再受講して頂く場合、**受講料は半額**でご参加いただけます。尚、受講時には、通常の「受講生用」ではなく、「**講師用のテキスト**」にて受講頂けます。情報更新や講師用テキストをご希望される場合は、是非再受講下さい。

JASPEC「ほっとデスク年間定例セミナー」内容詳細

セミナー開催にあたり、年間定例セミナーの主旨は「福祉用具に関わるのであれば、これくらいは理解しておかなければ、良質なサービスの提供はできない」という意味合いで行っております。内容は、人が生活していく上で必要最低限であるとされる制度対象の福祉用具や住宅改修を主な題材としております。

他と比較してもらっても、十分に満足いただけるだけの情報等の提供をさせていただいていると自負しておりますが、限られた時間で行っておりますので、当然これで全てをお伝えできていないという想いも持っております。その他のセミナーも是非受講し、知識を広め、更に深めて下さい。

第一回目		テーマ：特殊寝台とその付属品、床ずれ防止用具	
6月	初日 二日目 共に 同じ 内容	ベッドの基本原理と機能	ベッドの基本原理と機能について、人体への影響を踏まえた理論を理解してもらう。
		褥創の理解	褥創の理解をスライドと実機を使用して、姿勢やベッドとの連動による変化を体感しながら、理解してもらう。
		各マットレス寝比べ体感	一般のマットレス、体圧分散ベッドパッド、床ずれ防止用具(静止型・圧切替型)を10点以上並べ、体感しながら、違いを理解してもらう。

第二回目		テーマ：車いすと人体と生活	
8月	初日	車いす保守並びに点検技術	実際に使用されている実機を用いて、苦情や消耗度の高い箇所を重点的に、車いす保守並びに点検技術を学んでもらう
		車いす機能分類からの選定	車いすを各機能に分類し、それぞれの必要性やメリットデメリットを明確にした上での選定ができるための知識を学んでもらう
	二日目	車いす人体的観点からの知識と選定	車いすと人体の適合を、日本人高齢者の平均寸法を元に理解し、不適合なままの利用による人体へ悪影響を理解してもらう
		車いす機械的観点からの知識	工業製品である車いすを、工学的に理解することにより、誤った調整の発生を防ぎ、選定においての知識も学んでもらう

第三回目		テーマ：生活と、移動機器関連(杖、歩行器、スロープ)、入浴補助用具、排泄用具	
10月	初日	杖・歩行器の基礎知識	杖・歩行器の選定や適合に関する基礎知識を機種分類と人体の状況を合致させながら学んでもらう
		角度に関する基礎知識	福祉用具で角度に関する商品の実際例を使用状況と照合しながら、危険性や設置の意味についての基礎知識を学んでもらう
		安心して使い続けるために必要な保守	杖・歩行器等、軽介護度者と呼ばれる対象者が使用する用具に関して、安心して使い続けるために必要な保守を学んでもらう
	二日目	高齢者の身体状況の特性	入浴と排泄に関する人体のメカニズムの、血液や血圧変動による影響を踏まえて、高齢者の身体状況の特性を学んでもらう
		入浴用具の基礎知識	介護保険下特定福祉用具購入対象品の入浴用具を主体にそれぞれのメリットデメリットを踏まえて基礎知識を学んでもらう
排泄用具の基礎知識	介護保険下特定福祉用具購入対象品の排泄用具を、排泄姿勢やそれに連動する形状や素材を踏まえた基礎知識を学んでもらう		

第四回目		テーマ：生活と住宅改修と住環境整備	
12月	初日	施工手すりや住宅改修施工の構造基礎知識	人体との適合を前提に、手すりやその他の住宅改修施工の為の構造基礎知識を実際の施工方法やその問題点を踏まえて理解
		住宅改修アプローチ	安易な施工を実施しない為に、介護保険下の住宅改修項目の内容を主として、各住宅改修のメリットデメリットを、生活動線を踏まえて学んでもらう
		住宅改修と福祉用具の連動	介護保険下の住宅改修項目と連動した福祉用具の必要例を提示しながら、生活動線に基づく施工と貸与の連動を学んでもらう
	二日目	生活動線の考え方	ICFに基づく生活環境の捉え方を理解してもらった上で、住宅の各エリア(居室・浴室等)に分けて、生活動線の考え方を理解する
		福祉用具プランニング	一軒家の図面と想定対象者情報をベースに住宅改修と福祉用具導入、人的サービス等も踏まえてプランニングし、発表と改案討議をし、手法や考え方の固定観念を外す

第五回目		テーマ：福祉用具を供給する前に＝福祉用具概論	
2月	初日	利用者にとって、福祉用具とはどうあるべきか	福祉用具や社会環境(制度等)下において、どのような歴史を辿ってきたか、今後の年齢別人口の推移等を踏まえて理解、福祉用具とはどうあるべきかを考える
		制度上の助成対象福祉用具(介護保険・障害者自立支援法等)	助成対象福祉用具を主に、それぞれの用具が求める目的や、各メリットデメリットを明確にする
		高齢者の日常生活の特徴(身体と疾病の特徴)	高齢者特性を主とし、知覚の鈍化や身体能力の喪失等を踏まえ、日常生活の特徴を疾病の特徴も踏まえて理解する
	二日目	物に関する法律並びに規格	工業製品である福祉用具に関する法律並びに規格とその意義を理解する
		他サービスとの連携・他サービス職種の用具への責任の範囲	総合プランニングを行う為に、用具以外のサービスとの連携や、各々の責任の範囲を明確にする
	「ひと」「もの」「環境」の総合トータルサービスとは	現状と、想定される未来図におけるトータルサービスの本質を理解する	

年間定例セミナー以外についても、テーマを指示してもらえれば、セミナー新設可能です。

一度、ご相談下さい。



JASPEC

Japan Assistive Products Evaluation Center

一般社団法人 日本福祉用具評価センター